

第1回 県立高等学校改革懇談会 『白河実業・塙工業・修明』

日時：令和元年 5月29日（水） 13:30～15:00
場所：塙町役場 防災センター

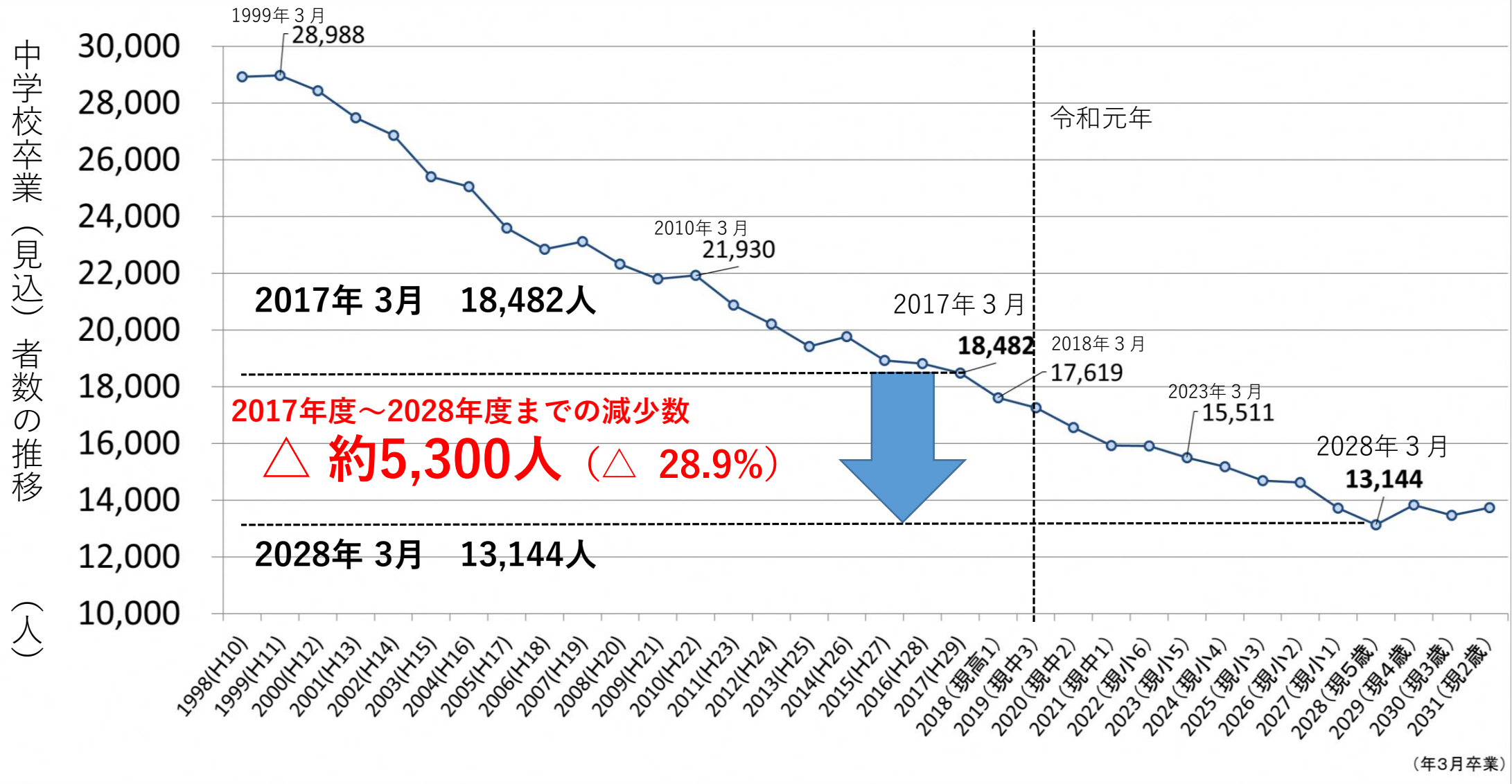
福島県教育委員会

本日の進め方

I	県立高等学校改革前期実施計画策定の経緯
II	塙工業高校と再編整備対象2校における現在の状況
III	今後の再編整備の方向性について

Ⅰ 県立高等学校改革前期実施計画 策定の経緯

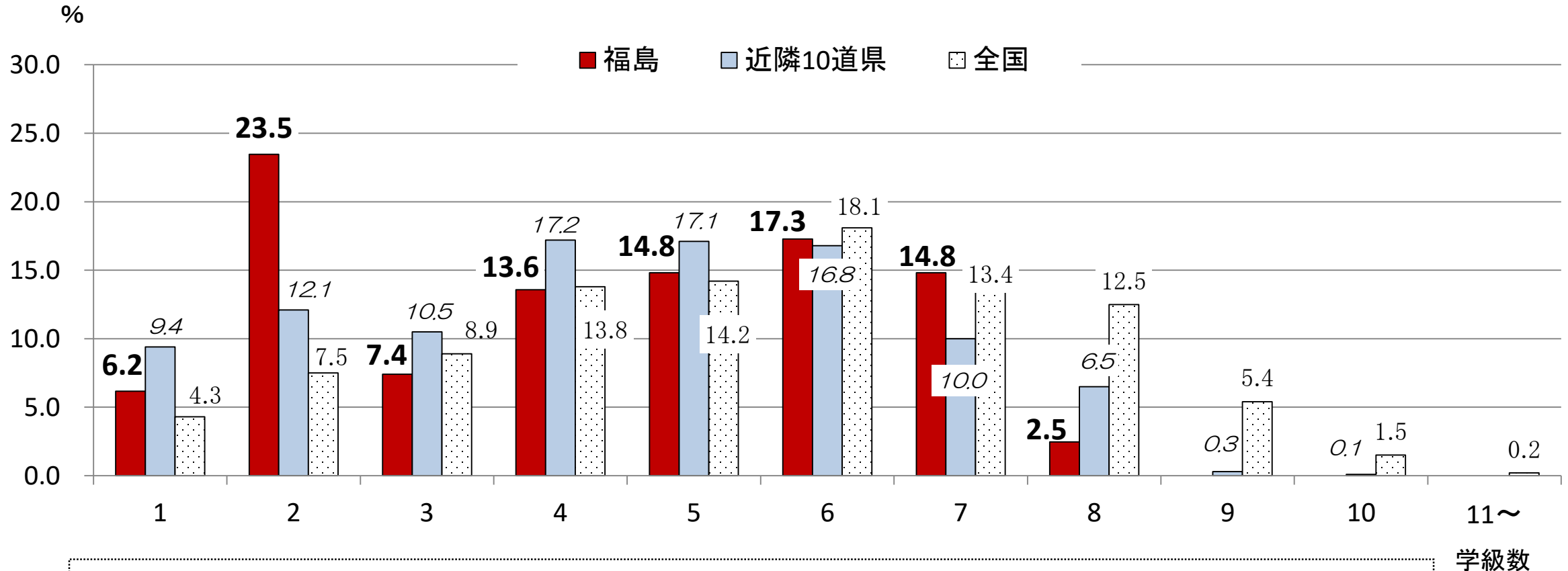
1 少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）



出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

2 県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。
分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日制課程の募集定員。近隣
10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

3 本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行**
(中学校卒業予定者数が10年間で約5,300名減少)
- 過疎化・高齢化
(地域コミュニティの維持が課題)
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化
(例: 主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入)
- 高等学校の小規模化
(3学級規模以下の高校の増加)
- 生徒の**学習ニーズの多様化**
(学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化)
- **東日本大震災と原子力災害からの復興・再生**
(本県の復興に関わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進)



高等学校改革の必要性

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」(平成9年)・「**第二次まとめ**」(平成11年)

福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



県立高等学校改革基本計画の策定 2018年 5月
(2019年度～2028年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (2019年度～2023年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (2024年度～2028年度) 5年間

4 県立高等学校改革の基本方針

基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

【4つの基本方針】

基本方針1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む
高等学校教育の推進

基本方針2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

基本方針3 **学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化**

基本方針4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の
向上

再編整備・魅力化の基本的な考え方①

- **学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模（1学年4～6学級）**
1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進
- **望ましい学校規模への再編整備の推進**
同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進
望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

再編整備・魅力化の基本的な考え方②

- 進路に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

職業教育推進校

地域協働推進校

定時制・通信制高校

5 小規模校のメリット・デメリット

【メリット】

- 地域の生徒の通学の負担が少ない
- 小規模な集団の中で高校生活を送りたい生徒の学習ニーズに合っている

【デメリット】

- 少人数の集団による人間関係の固定化
⇒ 多様な価値観に触れながら、社会性・協働性を養う機会の不足
- 学級数減に伴う教職員数の減少⇒教育活動の制限
科目選択や部活動の制限、学校行事の縮小など

6 再編整備（統合）による効果

○ 一定の集団規模を確保した望ましい学校規模

⇒ 仲間との切磋琢磨の中で**向上心**を高められる

⇒ 多様な価値観に触れることでより**広い視野**を得られる

⇒ 新しい学力観のもと、**探究的・協働的な学びを充実**
させることができる

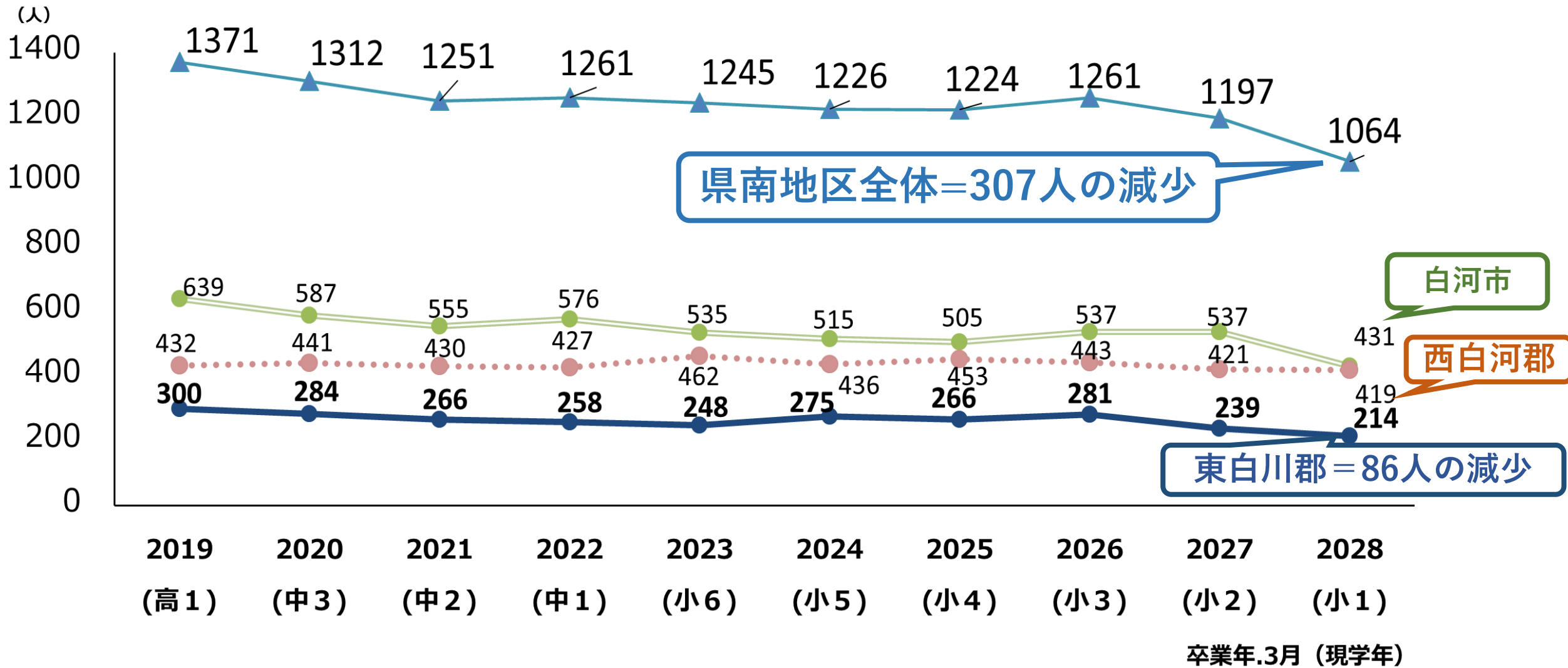
⇒ **教員数**が確保され、**多様な科目や部活動の選択**が可能
となる

**多様な選択肢を備えた教育内容
多くの仲間や先生との出会いがある高校**

II 埼玉工業高校と再編整備対象 2 校における現在の状況

7 県南地区の児童生徒数の推移

H30年度学校基本調査・福島県の推測人口より



8 学校の沿革概要等

塙工業高校

○ 沿革（創立71周年）

- 昭和23年 4月 福島県立東白川農業高校の定時制課程塙分校として設立
- 昭和23年 7月 福島県立塙高等学校となる（定時制課程 農業科 家庭科 翌年普通科も設置）
- 昭和26年 7月 現在の台宿字北原に移転
- 昭和45年 4月 福島県立塙工業高等学校に改称（機械科 2 学級 電気科 2 学級 電子科 1 学級）
- 平成30年10月 創立70周年記念式典挙行

○ 設置学科（平成31年度現在）

全日制 1 学年 2 学級 計 6 学級

・ 機械科 1 学級 ・ 電子科 1 学級

○ 面積 敷地総面積 42,411m²

運動場・その他 36,820m² 建物敷地 5,590m²

学校の沿革概要等

白河実業高校

○ 沿革 (創立92周年)

- ・ 昭和 2年 5月 白河町立福島県白河商業学校開校
- ・ 昭和19年 4月 白河町立福島県白河農学校となる
- ・ 昭和42年 7月 福島県立白河農業高等学校と改称
(白河農工高等学校～白河実業高等学校に改称)
- ・ 平成29年10月 創立90周年記念式典挙行

○ 設置学科 (平成31年度現在)

- 全日制 1 学年学級 計 6 学級
- ・ 農業科 1 学級
 - ・ 機械科 2 学級
 - ・ 電気科 1 学級
 - ・ 電子科 1 学級
 - ・ 情報ビジネス科 1 学級

○ 面積	敷地総面積	125,149m ²
	校舎敷地	41,064m ²
	実習地等	61,726m ²
	運動場	22,358m ²

修明高校

○ 沿革 (修明高校 創立10周年)

- ・ 明治41年 4月 東白川農商高校前身の郡立農蚕学校創立
- ・ 大正13年 4月 棚倉高校前身の棚倉町実科高等女学校創立
- ・ 平成21年 4月 2校を統合し、福島県立修明高校を開校
- ・ 平成31年 創立10周年

○ 設置学科 (平成31年度現在)

- 全日制 1 学年 4 学級 計 13 学級
- ・ 文理科 1 学級
 - ・ 生産流通科 1 学級
 - ・ 食品科学科 1 学級
 - ・ 情報ビジネス科 1 学級
 - ・ 経営マネジメント科・情報マネジメント科 (第3学年のみ)

○ 面積	敷地総面積	132,837m ²
	校舎敷地	51,637m ²
	実習地	68,387m ²
	運動場	12,251m ²

9 進路状況（過去3年間）

学校要覧より

【塙工業】

進路先 卒業年度	大学	専門学校等	就職			合計
			計	県内	県外	
28	1	12	49	39	10	62
29	1	8	48	41	6	57
30	2	11	48	43	5	61

進路状況（過去3年間）

学校要覧等より

【白河実業】

進路先				就職			合計
卒業年度	大学	短大	専門学校	計	県内	県外	
28	25	3	33	150	126	24	211
29	16	4	48	154	125	29	222
30	16	3	46	167	137	30	232

【修明】

進路先				就職			その他	合計
卒業年度	大学	短大	専門学校	計	県内	県外		
28	20	10	37	68	57	11	3	138
29	19	11	37	94	72	22	1	162
30	19	4	47	74	65	9	3	147

10 部活動

※ アンダーラインの付いた部活動は、
埴工業と共通または類似の内容のもの

【埴工業高校】

- 運動部
野球 サッカー
ソフトテニス 卓球
バスケットボール
格技（柔道・空手）
格技（剣道・銃剣道）
- 文化部
電機 吹奏楽 華道
和太鼓
生徒会ボランティア
工業クラブ

【白河実業高校】

- 運動部
陸上競技 野球 バレーボール
バスケットボール バドミントン
ソフトテニス 卓球 柔道
自転車競技 水泳 剣道
テニス バドミントン
サッカー
※ソフトボール（休部）
- 文化部
ブラスバンド 演劇
コンピュータ 合唱 園芸
工作 電気 写真 茶道
華道 商業研究 美術

【修明高校】

- 運動部
陸上 野球 バレーボール
バスケットボール
バドミントン ソフトテニス
卓球 自転車競技
ホッケー バドミントン
※ソフトボール（休部）
- 文化部
吹奏楽 科学 情報処理
華道・茶道 ボランティア
コーラス 美術
特設農業科 特設商業科
特設文理部

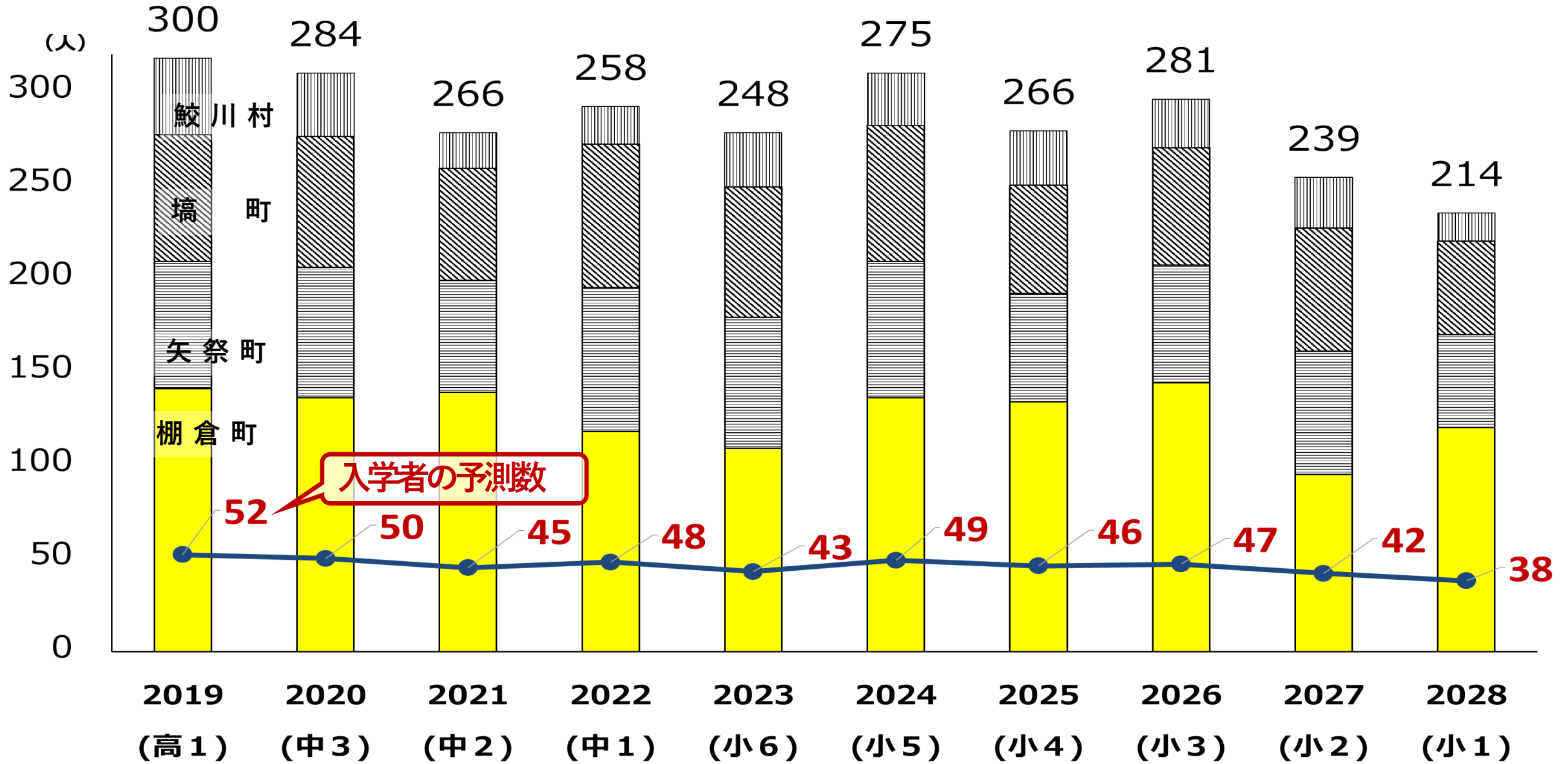
11 入学状況

【埧工業】

年度	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	3 1
募集定員	1 2 0 (機械 8 0 ・ 電子 4 0)				8 0 (機械 4 0 ・ 電子 4 0)						
入学者数	8 8	8 3	8 2	7 4	6 6	7 1	6 2	6 2	5 7	4 0	4 3
機械	6 3	5 5	5 5	5 4	3 9	3 7	3 7	3 7	3 6	3 2	3 2
電子	2 5	2 8	2 7	2 0	2 7	3 4	2 5	2 5	2 1	8	1 1
充足率 (%)	73.3	69.2	68.3	61.7	82.5	88.8	77.5	77.5	71.3	50.0	53.8

12 東白川郡の中学校卒業見込者数と埴工業高校への入学者数の予測

(平成26年度～平成30年度までの入学者の割合の平均をもとに算出)



卒業年.3月

13 再編整備対象 2 校の入学状況

【白河実業】

年度	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	3 1
募集定員	2 4 0 (農業 4 0 ・ 機械 8 0 ・ 電気 4 0 ・ 電子 4 0 ・ 情報ビジネス 4 0)										
入学者数	240	237	240	239	235	227	231	238	238	232	224
農業	40	40	40	40	39	40	40	40	40	40	40
機械	80	80	80	80	79	79	80	79	80	75	79
電気	40	40	40	40	37	35	40	40	40	37	35
電子	40	40	40	40	40	33	40	40	38	40	40
情ビ	40	37	40	39	40	40	31	39	40	40	30
充足率 (%)	100	<i>98.8</i>	100	<i>99.6</i>	<i>97.9</i>	<i>94.6</i>	<i>96.3</i>	<i>99.2</i>	<i>99.2</i>	<i>96.7</i>	<i>93.3</i>

再編整備対象 2 校の入学状況

【修明】

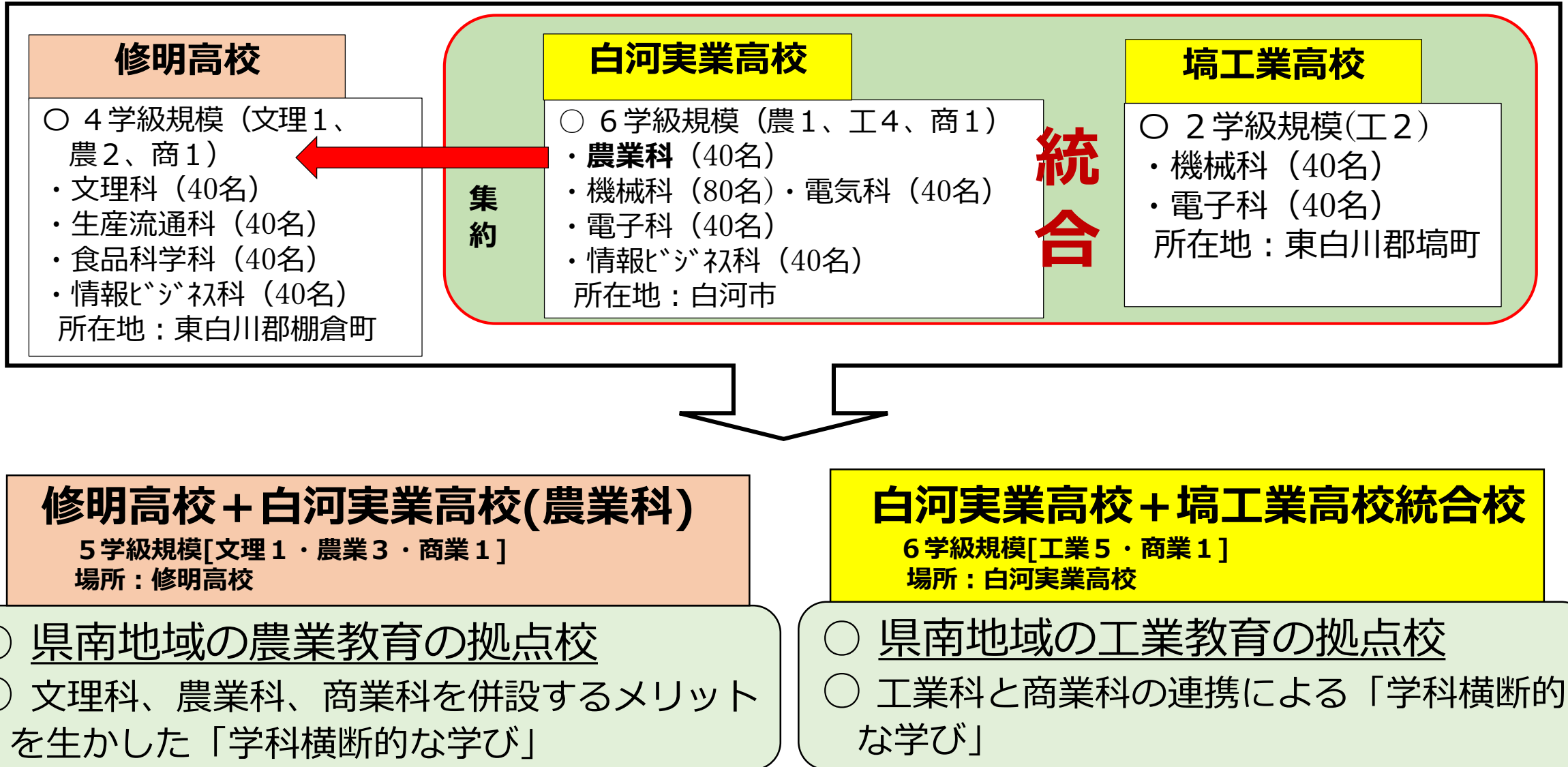
年度	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	3 1	
募集定員	2 4 0 (文理 8 0 生産流通 4 0 食品科学 4 0 経営ビジネス 4 0 情報マネジメント 4 0)			2 0 0 (文理 4 0 生産流通 4 0 食品科学 4 0 経営ビジネス 4 0 情報マネジメント 4 0)						1 6 0 (文理 4 0 生産流通 4 0 食品科学 4 0 情報経営ビジネス 4 0)		
入学者数	219	199	186	176	162	150	168	154	132	128	125	
文理	64	56	34	33	28	15	29	29	19	22	16	
生産流通	40	40	40	39	39	37	37	38	39	34	38	
食品科学	40	40	40	40	40	37	38	36	33	37	36	
経ビ	39	37	37	35	25	34	36	30	21	35 経営ビジネス科	35	
情マ	36	26	35	29	30	27	28	21	20			
充足率 (%)	<i>91.3</i>	<i>82.9</i>	<i>77.5</i>	<i>88.0</i>	<i>81.0</i>	<i>75.0</i>	<i>84.0</i>	<i>77.0</i>	<i>66.0</i>	<i>80.0</i>	<i>78.1</i>	

14 平成30年3月県南地区中学校卒業者の高校進学先 (平成29年度卒後の進路調査より)

	数卒業者	数進学者	埴工業	修明	鮫川	白実	白河	旭	石川	光南	岩農	公立県内	定・通	学石	私立その他	県外	高専等
白河旧市内中学校	475	468		14	4	116	111	87	1	32	6	15	8	10	45	12	7
表郷	51	51	1	8		18	5	10		1				1	2	4	1
東	68	68		10		9	8	7	1	9	2	5	1	10	4	2	
大信	51	47				8	10	4	1	8	2	6		1	5	1	1
西郷村内中学校	192	188		9		40	34	34		21	11	9	4	3	20	6	2
棚倉	123	122	5	37	7	10	16	16		10		2	2	9	6	1	1
埴	74	73	18	17	2		6	8		2		3		13	1	2	1
矢祭	44	43	3	11	2		5	4		4		1		7	4	1	1
鮫川	29	29		6	6	1	1		3		1	4		3	3		1
浅川	65	65	4	4		7	8	3		1		12		17	8	2	
石川	147	144	1	6	2		1	2	24	8		27	3	47	18	1	4
計	1319	1298	32	122	23	209	200	175	30	96	22	84	18	121	115	32	19
進学者に対する割合(%)			2.5	9.4	1.8	16.1	15.4	13.5	2.3	7.4	1.7	6.5	1.4	9.3	8.9	2.5	1.5

III 今後の再編整備の方向性について

15 再編整備の方向性



白河実業・塙工業統合校（案）のイメージ図

職業教育推進校

県南地域の工業教育と商業教育の拠点校

高い専門性を身に付けるための教育活動により、地域産業を支える核となる人材を育成

- 2校の学びの継承と充実
専門的な技術を身に付けさせるための丁寧な指導
「資格取得」「工業の各種大会参加」等
- 職業人としての資質を育成するキャリア教育の充実
インターンシップの充実
- 工業科と商業科の連携による学科横断的な学び
- 地域と協働した取組により地域活性化に貢献

検討する統合校の特色化

専門的な技術・技能
の指導

工業と商業の
連携した学び

主体的・対話的で
深い学びの実現

地域の産業界と密着した
探究的・実践的な学び
の導入

丁寧な
キャリア教育

修明高校の再編整備のイメージ図

職業教育推進校

東白川郡唯一の高等学校として、各学科の特色を生かし、地域と連携した教育活動により、地域を支える核となる人材を育成

- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育
- 地域と連携した教育活動（地域課題探究活動の実践）
- 農業教育と商業教育の推進により、高い専門性を養成
- 文理科における個に応じたきめ細かな指導による進路希望実現
- 学科間連携の探究的学習の実践

検討する修明高校の特色化

県南地区の農業の振興
のための農業科の充実

農業科・商業科・
文理科の連携した学び

地域をフィールドにした
探究的な課題解決型学習に
よる地域貢献の意識の醸成

各学科の特徴を生かした
東白川地域との連携した
取組

丁寧なキャリア教育に
よる進路希望の実現
(進学・就職)

16 今後の予定

会議等のスケジュール

第1回改革懇談会 7月ごろ

(白河実業関係者との懇談会)

第2回改革懇談会 夏以降 (以降必要に応じて開催)

今後必要となる組織

改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織

- 教育内容検討委員会 (両校の教職員で構成される検討委員会)
- ワーキンググループ (各校の校内検討委員会)